

晴也<sup>はるや</sup>さんは店の常連

初めて顔を合わせた時  
(笑い混じりにではあったけど)  
「ホモだから気をつけてね」と  
ママに紹介された

「ゲイだ」という人に  
会うのは  
初めてだったし

だから俺は

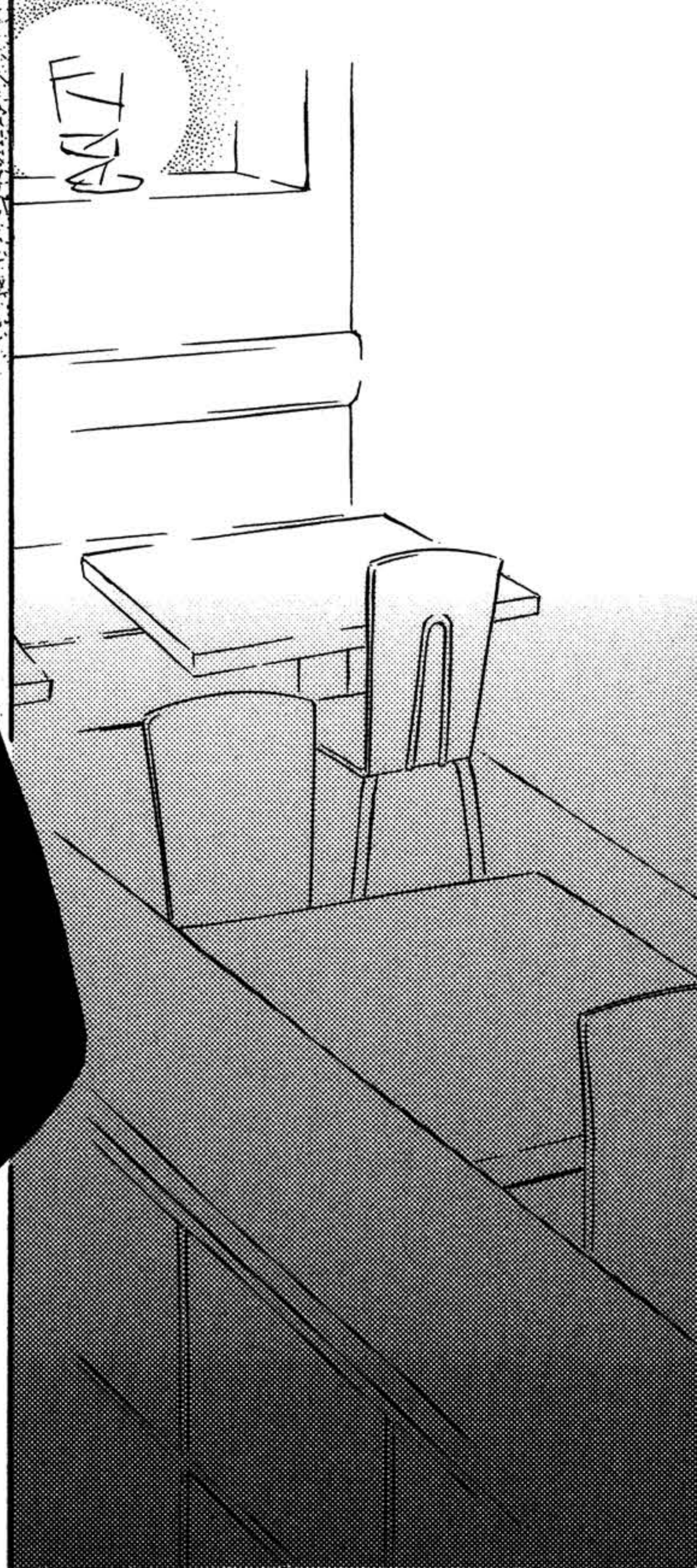
四〇〇円の  
お返しです

晴也さんが  
来る度覚える  
奇妙な緊張感は

お休み  
郁巳<sup>くみ</sup>くん

いわゆる  
ホモってどんな人  
だろうという

ありがちで  
底の浅い好奇心で



ありがとうございます  
ごさいましたー

特に何事もなく  
帰っていく度

なんだか少し  
がっかりするのは

ほ。

……

キヤ……

そりゃそうか

ホモつたつて  
アブナイ人じゃ  
ないんだから

キヤ

男なら  
見境なくせまるとか  
そういうわけじゃ  
ないよな

俺がなんとなく  
抱いていた

ゲイへの  
「かなり偏った先入観」に  
晴也さんが  
あてはまらないので

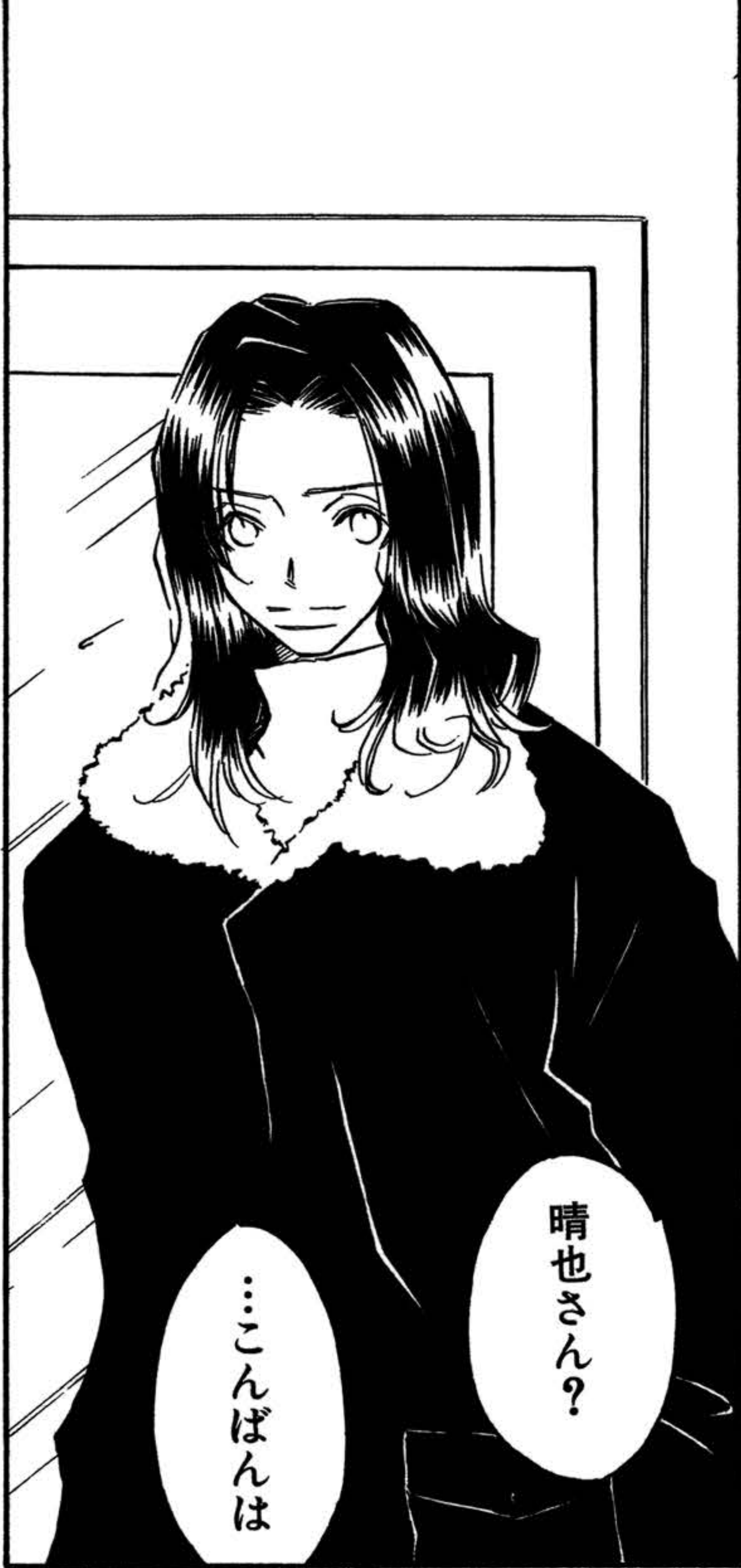
すみませーん  
オーダー  
お願いしまーす

あ:

はい

拍子抜けというか  
安心というか

しているのだと  
思っていた



…こんばんは

晴也さん？

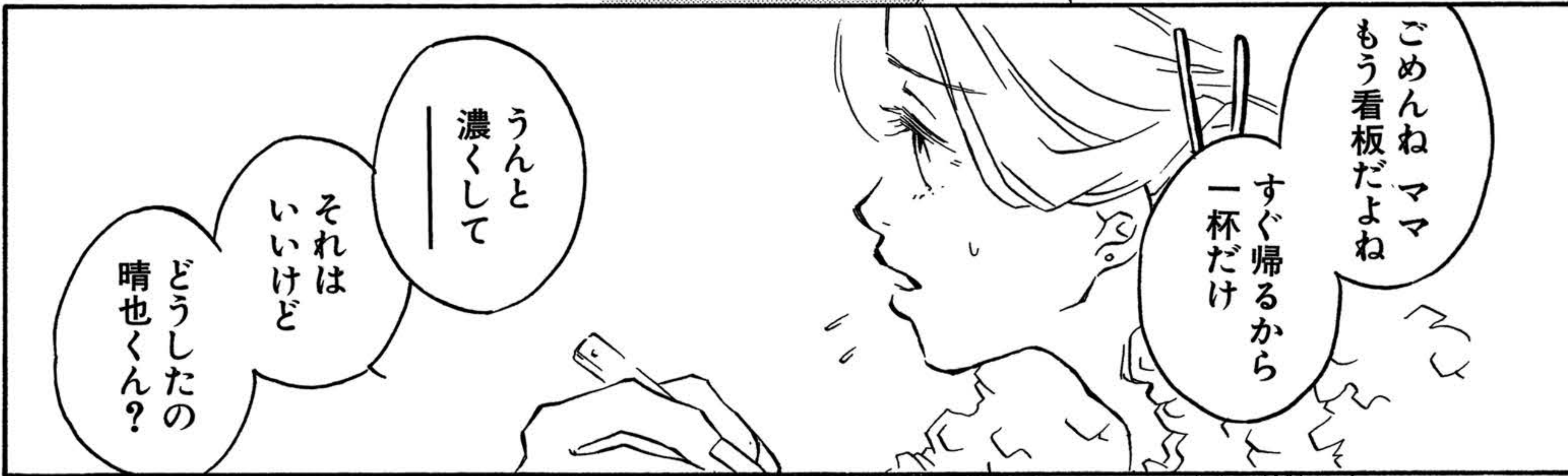


12月初めの

……！

ららっしやうませー

あ



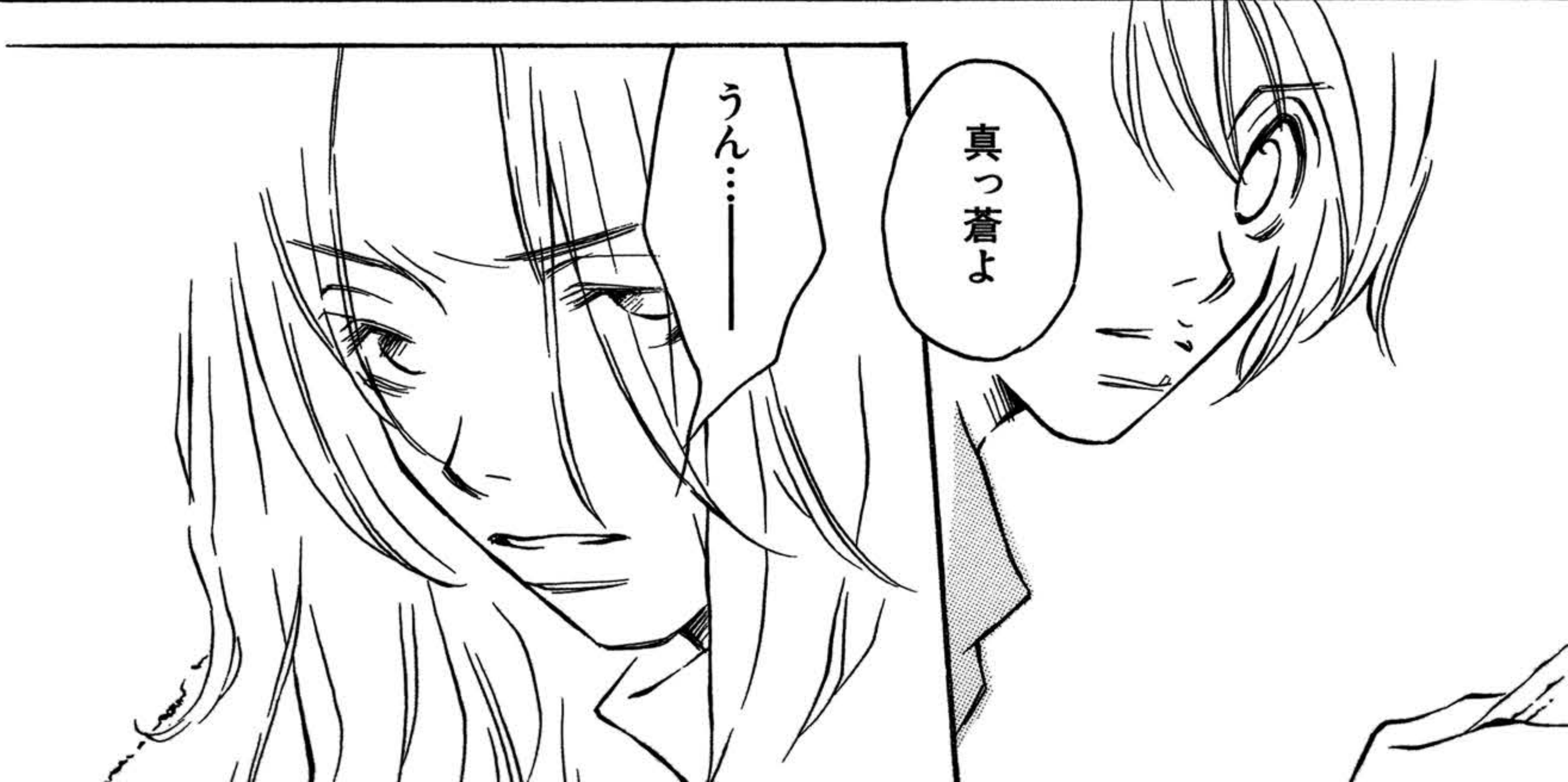
ごめんねママ  
もう看板だよ

すぐ帰るから  
一杯だけ

うんと  
濃くして

それは  
いいけど

どうしたの  
晴也くん？



真っ蒼よ

うん……

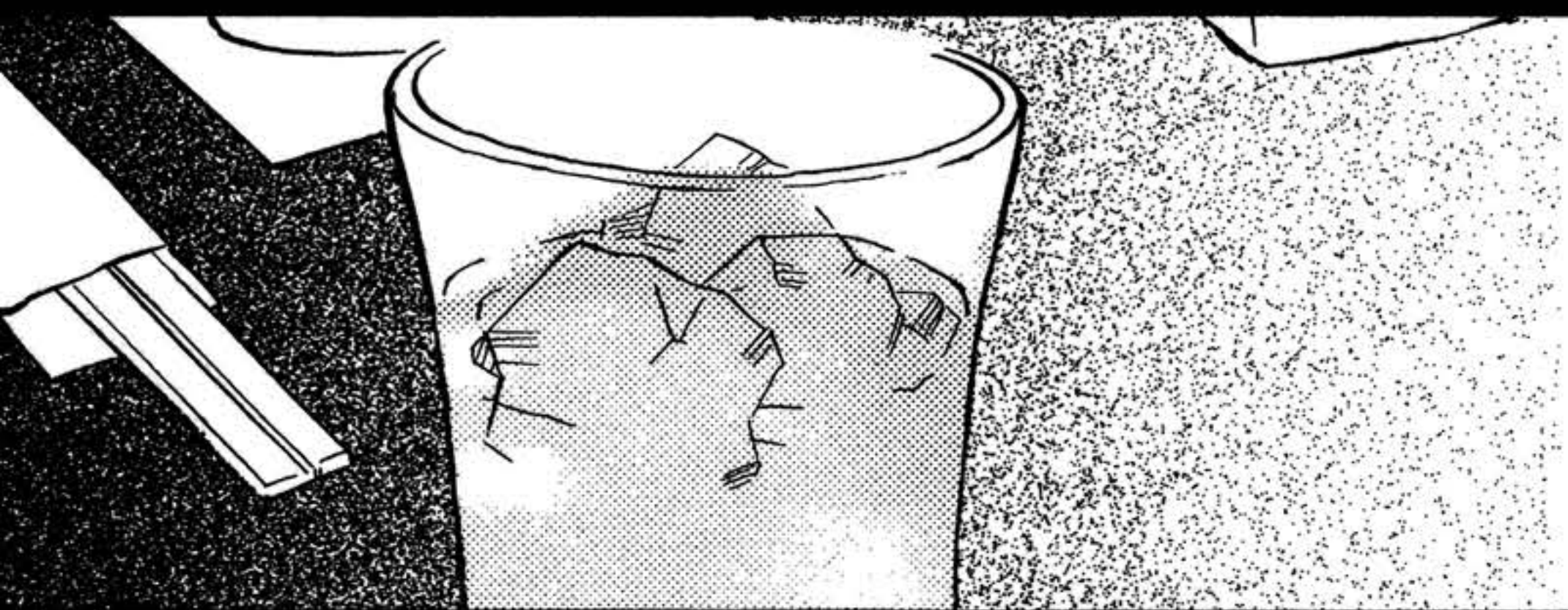
その瞬間までは——



もおだめ……………

ふられた……………

——何ソレ？



……会った  
瞬間にさ



……ズルイ



絶望的才気持子

体ノ底カラ  
湧キ上ガツテクル

……運命とかって  
あるんなら

“この人がそうだ”  
って——



何タロウ コノ

“この人だ”って  
思ったんだ